



アフリカのテクノロジーハブは スタートアップで賑わっているが 好調なセクターには まだ克服すべきハードルがある

UHY FAS ニュースレター / 2019年9月

エグゼクティブサマリー：

2019年4月、オンライン小売市場であるジュミア (Jumia) は、ニューヨーク証券取引所に上場した最初のアフリカのテクノロジースタートアップ企業になった。アフリカのアマゾンと呼ばれるこのビジネスは、約81,000のアクティブな売り手を誇り、アフリカの14か国で営業している。

この歴史的な上場は、アフリカのテクノロジー企業にとっては重要な数年となった。ハイテクスタートアップは2018年に資金調達記録を破り、3億34.5百万米ドルの投資を確保した。より多くの国でより多くのスタートアップがこれまで以上に多くの資金を受けた。

数字をまとめた会社であるDisrupt Africaの共同設立者であるTom Jacksonは、次のように述べている。「投資レベルは、地元の生態系の健全性を測定する唯一の方法ではないが、セクターの進歩を証明する方法である。問題に対する革新的なテクノロジーソリューションがあり、強力なビジネスモデルを備えている場合で、規模の拡大が必要な場合に資金調達への道が開かれるのだ。」

ナイジェリアがリード

全体的な数字は、ヨーロッパや北米の比較可能な統計と比べ控えめだが、少数の国に成功したスタートアップが集中していることがわかる。ナイジェリアはアフリカのスタートアップ資金の最も魅力的なハブとして浮上しており、58のスタートアップが2018年に合計95百万米ドルの投資を集めた。ジュミアは、他の多くの主要なアフリカのテクノロジー企業と同様、ナイジェリアに本拠地があるのは、偶然ではない。

ナイジェリアのUHYの事業開発責任者であるLawrence Etukakpanは、このセクターがナイジェリアの繁栄にますます重要な貢献をしている、という。

「テクノロジー企業はナイジェリア経済の発展にとって非常に重要である。」と彼はいう。「より多くのテクノロジーハブが国内に設立されており、知識経済と雇用機会の改善に希望を与えている。テクノロジー革新は、貧困から抜け出す一つの方法と見なされている。今日、テクノロジーはナイジェリア経済のGDPに11.81%貢献している。」とLawrenceは言う。

このセクターの成功は、ナイジェリアが、2018年にテクノロジースタートアップへの投資先として南アフリカを追い抜いたことを意味している。つまり、ケニアとともにトップ3を占める。しかし、「Disrupt Africa」は、新しい技術の新興企業が大陸全体に出現していることを指摘している。エジプトは特に強力な競争相手である。ウガンダでも、スタートアップの活動が急増している。昨年、同国は、同国の情報通信技術 (ICT: Information and Communications Technology) セクターにおける零細、中小企業の競争力強化を目的とした国際貿易センター基金の受益者となった。

「ウガンダのハイテクハブは、最初のハイテクハブであるHive Colabが設立されて以来、過去7年間で増加している。」と、首都カンパラのUHY Thakkar & AssociatesのCEOであるSameer Thakkarは述べている。「1年後、女性起業家と技術者に活力を与えることに焦点を当てた別のハブであるWITU (Women In Technology Uganda) もオープンした。」

このような例は、広大なアフリカ大陸のどこでも再現されているわけではない。一部の国には、実際のテクノロジーセクターがない。他の企業は、あまり期待されないテクノロジーセクターを持っている。ガーナのUHYのシニアアソシエイトであるMakafui Azasuは、テクノロジー企業がガーナの国民経済に革命をもたらすのに重要な役割を果たすことができるが、基本的なインフラの欠如が発展を妨げている、と考えている。

「ハイテク企業はガーナの経済にとって重要であるが、現在の政府の政策は、その関連性を見るのに十分な余地を作り出しておらず、完全にサポートされていない。私が見る限り、これは今後10年で変わることはないだろう」と彼は言う。

成長するインキュベーターネットワーク

ガーナのテクノロジーセクターは限定的であるが、持続可能である。Makafuiは、「インフラストラクチャ、物理的空間、およびガーナ以外のテクノロジーハブとのネットワークで技術サポートを提供し、アイデアやガイダンスを提供する」ことにより、専用のテクノロジーハブとインキュベーターが、ガーナのテクノロジースタートアップをサポートしていると考えている。

テクノロジーハブがアフリカの多くの地域でデジタル経済を推進しているということは彼だけの信念だけではない。Lawrenceは、ナイジェリアで55の設立されたプライベートテクノロジーハブ及び、それ以上のハブ計画を確認している。さらに、政府は国有のスタートアップインキュベーターの独自のネットワークを構築することにより、ナイジェリアの経済にとってテクノロジーセクターの重要性を認識している。これらの有益で専門的なスペースが一緒になって、ナイジェリアのデジタル経済を育んでいる。

「これらのイノベーションセンターは、若いスタートアップに高速インターネットアクセスと無料のトレーニングを提供し続けている。」とLawrenceは言う。「これらは、自発的起業家がベストプラクティス、法律および規制情報、マーケティングおよび投資ネットワークにアクセスすることをはるかに容易にした。また、指導の機会も提供している。」

同様に、ウガンダのテクノロジー企業は、現在数が約20のテクノロジーハブとイノベーションセンターのネットワークの恩恵を受けている。Lawrenceのように、Sameerは、これらが費用対効果の高いオフィススペースやネットワーキングの機会から、エンジェル投資家、ベンチャーキャピタリスト、潜在的な指導者へのアクセスまで、さまざまなメリットを提供すると述べている。「これらは、志を同じくする新興企業、技術者、投資家がアイデア、関係、アドバイスでお互いを非公式に交流し、サポートできる場所だ」と彼は付け加える。

UHYのパートナーであるDominique Samouilhanは、モーリシャスでは公式のテクノロジーハブはないかもしれないが、テクノロジー企業は、特にICTで一緒になる方法を見つけている、と言う。

一部のビジネスマンは、自分のスタートアップをICTセクターに組み込みたい若い起業家を引き付けるために、共同ワーキングセンターを設置している。

「これらの共同ワーキングセンターは、将来の関係を構築し、新しいアイデアを生み出すことを目的として、スタートアップ間の相互作用を刺激する。いくつかの大企業も、ICTスタートアップを財政的に支援するエンジェルファンドを創設した。」

アフリカへのゲートウェイ

モーリシャス政府がテクノロジーセクターを支援し成長させるという野心的な計画を発表するのを止めなかった。「モーリシャス経済にとってICTはますます重要になっており、今後数年間でICTを経済の主要な柱にすることが政府の目標の1つです。」とDominiqueは言う。

このサポートには、「デジタルモーリシャス2030」戦略と、デジタル政府と人工知能（AI）に特化した焦点が含まれる。今日、ICTセクターはモーリシャスのGDPの約5.6%を占めている。政府は、その貢献を2030年までに約10%に増やし、5万人の雇用（総人口120万人のうち）を維持したいと考えている。

この点でモーリシャスには利点がある。最も重要なことは、外国投資にとって安全な場所と見なされており、経済的競争力、優れたガバナンス、経済的自由の尺度で高

く評価されていることである。それは、国のテクノロジーセクターに利益をもたらした。

多くの主要な国際企業—アクセンチュア、セリディア、AXA Assistance、Huawei、Orange Business Servicesなど—は、すでにICTセンターとしてモーリシャスを使用している。

「より多くの国際的なプレーヤーがアフリカ市場への浸透のためのプラットフォームとしてモーリシャスを選択することが予想される。」とDominiqueは言う。

国際的なプレーヤーの存在は、知識、インフラストラクチャ、潜在的なパートナーシップを提供し、地元の起業家を刺激する。それは、ある程度アフリカ全体で起こっている。4月、Googleはガーナ的首都アクラにアフリカで最初のAIセンターを開設したことを発表し、この基盤から、Googleは大学や政策立案者と提携し、大陸全体でAIの開発を促進することを目指している。

残された課題

テクノロジーセクターは、明らかに多くのアフリカ諸国の経済において重要な役割を担っており、その役割は確実に成長するだろう。しかし、セクターが成熟するにつれて、供給面で新たな課題を提示する。Makafuiは、「ガーナでは不安定な電力供給と相まって、一貫性のないブロードバンドカバレッジにより、セクターの成長が妨げられる可能性が高い。」と述べている。

ガーナだけの問題ではない。インフラストラクチャの問題は、多くのアフリカ諸国の可能性を制限する。「ナイジェリアでも、電力、道路、専用ブロードバンドサービスプロバイダーなどの基本的なインフラストラクチャが不足しているため、ビジネスにかかるコストが高くなる。」とLawrenceは言う。

Sameerは、時代遅れでサポートされていないテクノロジーの問題を指摘している。ウガンダのテクノロジー企業は、交換部品や公式サービス・サポートのない機器に依存していることがよくある。「例えば、Windows Server 2003のサポートが昨年7月に終了したため、期限までにプラットフォームから移行しなかった組織は、セキュリティの脅威と、パッチと更新プログラムで対処されなくなった。」と彼は言う。

多くの国でのセクター成長に対する他の脅威は、有能な人材の不足である。Dominiqueは次のように言う。「主な問題は、おそらく学位取得者と労働市場の不一致である。ソフトウェアエンジニア、Web開発者などが本当に必要である。教育トレーニングの内容とパターンを再評価する必要がある。」

Lawrenceは、ナイジェリアでは、トレーニングと関連する資格の取得にかかる費用は、規模を拡大しようとするスタートアップにとって障壁になると言う。一方、Sameerは、ウガンダの状況を要約している。

「IT人材の需要があるということは、この10年間の控えめな表現だろう。高度IT人材を採用できたとしても、切実に必要な他社と給与を競うことは絶えず心配だ。」

Dominiqueが説明するように、UHYのメンバーファームはITスキルのギャップや不安定なブロードバンドについて多くのことを実行できない場合がある状況のなかで、会計や税務コンプライアンスだけではなく、経験の浅いテクノロジースタートアップに対してはるかに多くのことを指導できるように求められる。

「私たちは成長に向かって彼らに同行する」と彼は言う。「銀行や投資家との資金調達を支援する。当社のネットワークを使用して、これらの起業家を潜在的なベンチャーキャピタリスト、ビジネスインキュベーター、および投資家に紹介しています。さらに、ビジネスプランと実行可能性レポートの準備を支援します。これにより、銀行に施設を提供できるようになる。」

これらの脆弱な若い企業は、彼らができるすべての助けを必要としている。テクノロジースタートアップセクターは、多くのアフリカ諸国の経済にとってますます重要になっている。これは、ハブとインキュベーターのネットワークの成長と記録的な投資レベルに支えられている。しかし、セクターの明らかな約束が確実に果たされるようにするには、インフラストラクチャの更新、技術トレーニングの改善、優れた専門サービスが必要である。

本文は、UHY hacker young 事務所が作成したのを、UHY FFAS が抄訳したものです。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ 3F

Tel: +81 3 5410 1395 / Fax: +81 3 5410 2475

Website : <http://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>

